



地域に支えられ

最後の「西南米」づくり



田植え終了後の記念撮影
稲作を全面的に支えてくださった「横尾衛門」の皆さん
西南中全校生徒と教職員



5月18日 田植え



9月5日 稲刈り



10月14日 販売活動

3月での閉校が決まり、今回が最後の稲作活動となりました。今年も「横尾衛門」の皆さんのご協力のもと、定番の「田植え」「稲刈り」だけでなく、「籾まき」から「脱穀」「精米」に至るまで米作りにかかわる全工程を生徒が行い、収穫した米を「袋詰め」し、無事「販売体験」を終えることができました。稲作活動を通して、米作りの知識・技能だけでなく、地域のみなさんの支えや豊かな自然に改めて気づく、貴重な体験となりました。

稲作活動を振り返って

全面的にご協力いただいた「横尾衛門」の皆様をはじめ、多くの皆様のご支援に厚くお礼申し上げます。

私は3年間で稲作に対する意識が随分変わりました。特に3年生では稲作リーダーとなり責任感を感じるようになりました。籾まきから袋詰めとすべての作業が、今年で最後だったので少し寂しかったです。弁論大会でも発表しましたが、稲作ができたのは横尾衛門さんのおかげです。田植えのあとの水の調整、あぜ道の草刈りなど、見えないところで支えてくださる姿は本当にかっこいいなあと思いました。試食をしてみて、今年の米が一番おいしかったです。がんばって育てた分だけ、おいしく感じるんだろうなと改めて思いました。横尾衛門のみなさん3年間本当にありがとうございました。

生徒数も減って、田植えなどの作業も時間がかかって大変だったけどとても楽しかったです。お米も去年より多く、最後の年に多くとれて良かったです。今年は最後の稲作活動だったので、1つ1つの作業が思い出に残りました。稲作活動は普通の学校ではできないので、西南中のように地域の方に協力してもらいながら活動できるのはすごいなと思いました。販売体験では毎年買ってきてくださる人が「今年が最後だから悲しいね」と言ってくださり、人の心に残るお米を作ってくれたことがとっても嬉しかったです。良い思い出がたくさんできました。横尾衛門のみなさんありがとうございました。

籾まきから販売体験までし、とても大変だと思いましたが、普段なかなか体験できないことをすることができ良かったです。その中で楽しかったのは代掻きです。中学生でトラクターを運転できて嬉しかったです。大変だったことは田植えです。ヒルに噛まれたり、カエルが何匹もいたりして大変でした。田んぼのドロドロ感が印象に残りました。稲刈りでは「てねそ」で結ぶのをがんばりました。試食会では改めて「西南米」の美味しさを感じました。横尾衛門さんの商品も試食しておいしかったです。稲作活動を通じてお米の大切さを学びました。横尾衛門のみなさんありがとうございました。

僕は稲作をするのが好きで毎年楽しみな行事でした。籾まきから精米まで、すべての作業を学ぶことができ、良い勉強になったなと思いました。特に印象に残っているのは、はで干しです。風雨が強くてほした稲が倒れてしまい残念だったけど、横尾衛門の方々が直してくださり、僕も少し手伝うことができ良かったです。稲作活動でたくさんの方の支えもあり、今年は豊作となりました。最後の販売体験では、完売となり、今までの成果が形として残った気がし、達成感でいっぱいでした。こうした体験ができたのも横尾衛門さんのおかげです。本当にありがとうございました。

僕は稲作活動が2年目だけ最後の活動になりました。麻桜さんの弁論にもあったように、支えてくださった方に感謝することが大切だと思いました。僕が印象に残ったのは天日干ししていたときの稲はでが倒れたことです。先生方ではうまく直すことができませんでした。僕も少し手伝ったけど、このときも横尾衛門さんに助けられました。とてもうれしかったです。「この活動はほかの学校ではなかなか体験できないことだよ」とたくさん聞きました。だからこの体験をどこかで生かせたらいいなと思いました。このような体験をさせていただいた横尾衛門のみなさんありがとうございました。



西南中の稲作活動は、農事組合法人横尾衛門の協力のもと実施しています。



西南中の稲作活動は、公益財団法人JKAの支援を受けています。

「西南米」販売体験では、アランピック「グランマルシェ」(会場)、益田市産業経済部産業支援センター(「西南米」のぼり作成)、広島益田会(販売体験事前PR)の皆さんにご協力いただきました。

「西南米」稲作暦



4月11日 籾まき 稲作スタート！



4月18日 苗だし



その後、毎日水やり 今年は順調に生育！



5月9日 代掻き 雨天決行！



5月18日 田植え 地域の皆様の応援を得て無事終了！



6月8日 草取り

おいしさの秘密①

無農薬！

「殺虫剤なし」のためヒルや虫に苦戦しながら、

「除草剤なし」で、人力で草取りをがんばりました！



収穫前 今年は実り多そう 豊作！



9月5日 稲刈り・はでぼし作業



小学校の稲刈りと同時にいましたが、地域のみなさんの協力で無事終了。



おいしさの秘密②

天日(はで)干し！

風雨で倒壊するも、横尾衛門尾の皆さんがすぐに修復。太陽の恵みを受けてしっかり乾燥！





9月15日 脱穀



9月19日 粳摺り・調整



9月28日 精米



9月29日 袋詰め(計量)



袋詰め(パッケージ貼)



完成! デザインも自分たちで!



少年の主張島根県大会(県弁論)

麻桜さんが、
稲作活動で感
じた、地域の
支えへの感謝
の想いを発表
し、2位相当
の入賞!



10月11日 試食 おいしさを再確認! PR板も作成!



10月14日 販売活動(広島市) たくさんの方に購入していただき、用意した120袋はあっという間に完売!

販売体験を終えて10日ですが、すでに20通を超える感想のハガキが届いています ~ 一部を紹介します ~

- まさに新米、無農薬という感じ。今まで味わったことのない透き通った味。うまい!
- 炊飯器のふたを開けた瞬間真っ白で輝くご飯に感動しました。ご飯の向こうに協力して一生懸命に米と向き合うみなさんの姿が見えるようで一口一口かみしめていただきました。
- 今年もおいしいお米をありがとうございます。毎年楽しみにしていたのですが、閉校のお知らせを聞いてとても残念でなりません。生徒さん一人一人に感謝の気持ちでいっぱいです。明るい素敵な未来にはばたいてください。
- 今年のお米も、とてもおいしく食べています。無農薬でお米を作るのは大変だったと思いますが、その分、安心・安全でとてもおいしいお米になったと思います。来年は閉校で、広島での販売がないと思うとすごく残念です。お米作りでのいろいろな経験をわすれず、これからもがんばってください。